

令和7年度 行動計画による取り組み実績報告

基本目標【環境づくり】

多様な主体とのネットワークが構築され、
誰もがまちづくりに参加しやすい環境が整っている。

①持続可能な自治会・地域振興協議会の活動に向けての取り組み
伴走支援

- 自治会や地振協の相談対応 [自治振興課]
- 生活支援コーディネーターによる支援 [長寿福祉課]

→地域ささえあい推進員によるサロン等の立上げ支援3件

②中間支援組織の育成・支援及び組織の充実

- 中間支援に関わる職員の研修 つながりづくりをテーマに研修

→入庁3年目以下の職員を対象にした職員研修を実施
～自己覚知と自己開示～

日時：12月18日（木）、12月25日（木）

講師：扇田 宗親 氏（龍谷大学 社会学部非常勤講師）

参加者：82名

③市民活動支援と市民提案制度の活用促進

- ふるさと納税寄附金集めのノウハウ共有会の実施
みら活登録団体と守山市のふるさと納税活用団体の交流実施

→ふるさと納税を活用した市民活動団体による情報交換会の開催

「団体のPR方法や寄附の集めのノウハウを学べる情報交換会」

日時：12月13日（土）

講師：山口 美知子 氏（公益財団法人東近江三方よし基金
常務理事兼事務局長）

参加団体数：栗東市5団体・守山市5団体

- 制度説明会、フォロー講座、報告会、市民学習会に交流をプラスし、
きっかけづくりの機会を増やす

→制度の説明会と情報交換会を社会福祉協議会と合同で開催し、それぞれの制度を比較検討できるようにした。

→助成金を獲得するためのポイントをテーマにサポート講座を開催し、
団体同士が交流する機会を創出した。

講師：幡 郁枝 氏（認定NPO法人 しがNPOセンター）

参加者：9団体・10名

→つながる学習会～楽しみながら、集まる場づくりをし、つながりを
広げよう！～を開催（企画政策課・自治振興課）

日時：2月4日（水）①15：00～、②19：00～

講師：高野 雄太 氏（おやまちプロジェクト代表）

前神 有里 氏（地域力創造アドバイザー）

参加者：①22名 ②16名

基本目標【担い手づくり】

自分が住む地域を良くしたいと考え、
地域課題に取り組むことができる市民が増えている。

①まちづくりに主体的にかかわる人づくり

- 地域外からの地域コミュニティ団体への協力の促進 [自治振興課]

- 市民学習会（ワークショップ）の実施 [企画政策課・自治振興課]

→つながる学習会～楽しみながら、集まる場づくりをし、つながりを
広げよう！～を開催（再掲）

- まちのジブンゴトfeel→do!（フィールド）の実施 [長寿福祉課]

日時：2月14日（土）

テーマ：①【高齢者福祉】サードプレイスを作るための仲間集めの方法

プレゼンター：長寿福祉課 吉川 翼 主事

②【地域自治】地域でやりたいことがある人を見つける方法

プレゼンター：自治振興課 不破 亨 係長

③【神社と馬】大宝神社で飼うポニーを使ったアイデア

プレゼンター：大宝神社宮司 荒井 之也 氏

参加者：44名

基本目標【情報の発信・共有】

行政情報やまちづくりに必要な情報を広く発信・共有できている。

基本目標【市の推進体制】

全ての職員が協働に求められるスキルを身につけ、
伴走支援と組織横断的な協働を実践できている

①情報発信・共有

○「市民参画と協働によるまちづくり通信」の発行（市民団体の取材を通じて、連携づくりと現状・課題の把握）〔自治振興課〕
→市民団体への取材（6団体）を実施し、まちづくり通信を3回発行

○元気創造まちづくり事業成果報告会〔自治振興課〕
→成果報告会を実施し、6団体による活動報告や参加者同士の交流を促進した。

○コミセngoとのホームページ作成〔自治振興課〕
→コミセngoとに随時更新

○「りっとうミツケーター」と協働による情報発信〔シティプロモーション推進課〕
→ミツケーター37人がFacebookを活用し、市内観光地や景色など「うますぎる」魅力を発信。

○民生委員の活動を紹介する動画の作成〔社会福祉課〕
→11月20日（木）YouTubeにて公開

○きき水や給水車を活用したイベントで水道事業の啓発〔上下水道課〕
→8月（栗東駅前夏祭り）と11月（治田東学区民まつり）できき水イベントを開催

○「くりちゃん」デザインマンホールカードの配布〔上下水道課〕
→栗東市立図書館にて6,000枚を配布（4月25日～9月20日）

②組織横断的な支援体制の確立

○コミュニティの再生や関係づくりをテーマにした職員研修の実施〔企画政策課・自治振興課〕

→地域人材育成研修「～地域と市役所のつながりを生み出すために～」を開催

日時：1月22日（木）9：30～11：00

講師：前神 有里氏（栗東市地域力創造アドバイザー）

中西 大輔氏（労働者共同組合やさしいまちづくり総合研究所）

杉田 憲一氏（NPO法人縁活 代表）

参加者：21名

基本目標【市政への参画】

市民が政策の形成や実施、評価などに参画し、
市民ニーズに対応したまちづくりができている。

①広聴制度の充実

○市長への手紙、市長のこんにちはトーク、まちづくり出前トーク〔秘書広聴課〕

→「市長への手紙」389件、「市長のこんにちはトーク」3件、「まちづくり出前トーク」74件を実施。（令和8年2月26日現在）

○学区別自治連合会での懇談会〔自治振興課〕
→学区別自治連合会と市との懇談会を実施し、各学区における課題等について懇談を実施。

②計画策定に関する市民参画

各種計画策定に伴い、審議会やアンケート、パブリックコメント等の実施により、市政参画の機会の充実に努めた。

③市の方針決定に関する市民参画

○自治会の支援方法の検討について 市民対象にアンケート調査〔自治振興課〕

→18歳以上の市民から無作為に5,000人を選び、アンケートはがきを郵送により配布

1,178名から回答をいただき、自治会や地域振興協議会への支援について分析・検討を進める。

○栗東駅周辺まちづくり基本方針の見直し アンケート調査、都市計画審議会〔都市計画課〕

→15歳以上の市民から無作為に2,000人を選び、紙の調査票を郵送
→栗東駅を含む栗東駅周辺施設の利用者、来訪者へのアンケート
→栗東駅周辺団体等へのヒアリング実施 計15団体